

上下水道アンケート結果

向日市まつり会場で1134人に聞きました

『97向日市まつり下水道コーナ』において、実施しましたアンケート調査の結果がまとまりました。

このアンケートは、市民のみなさんに上下水道について理解を深めていただき、また今後の参考とさせていただきますため、クイズ形式で行いました。内容と結果は次のとおりです。

- (1)琵琶湖 (2)保津川 (3)淀川
現在建設中の府営乙訓浄水場の取水地点は、嵐山より上流の保津川から取水します。答えは(2)となります。正解率は54%でした。
- 問3 府営水道の受水池兼配水池となる現在建設中の物集女新配水池の容量は何立方メートル(㎡)でしょうか。
(1)1000㎡ (2)10000㎡ (3)100000㎡
現在建設中の物集女新配水池兼受水池の容量は100000㎡であり、答えは(3)となります。正解率は60%でした。
- (下水道アンケート)
問4 あなたのお家は、下水道の水洗化の工事(公共下水道と継ぐ工事)をされていますか。
(1)している 回答91%
(2)していない 回答9%
問5 水洗化の工事は、公認業者でないとならないと存じていますか。
(1)知っている 回答92%
(2)知らない 回答8%



問1 地球上の水の中で地下水の水の占める割合はいくらでしょうか。
(1)1%以下 (2)50%程度 (3)90%程度
地球上の水の中で地下水の占める割合は1%以下しかなく、答えは(1)となります。正解率は、20%でした。

問2 府営水道の水はどこから取水するのでしょうか。
(1)知っている 回答91%
(2)していない 回答9%
問5 水洗化の工事は、公認業者でないとならないと存じていますか。
(1)知っている 回答92%
(2)知らない 回答8%

平成9年9月末現在で市民の約90%が公共下水道を利用しています。また、ペットボトルの空きを再利用した体操です。社交ダンスは55歳にして、初めて同好会に参加したのがきっかけでした。今では週3回のレッスンを励んでいます。

また、ペットボトルの空きを水入れ(500cc)両手に持ちダンベルのように脇と下腹部、腕のひきしめなどに一、二、一、二のリズムで毎日出来るだけ30分くらいはやるようにしています。ちなみに、身長1

わたしのすすめる健康づくり

(上植野町) 今西いち子さん (60歳)

音楽のリズムのとり方またウォークの重心のとり方など難しさにワイワイ、ガヤガヤと言いながら毎回心

きに入水(500cc)両手に持ちダンベルのように脇と下腹部、腕のひきしめなどに一、二、一、二のリズムで毎日出来るだけ30分くらいはやるようにしています。ちなみに、身長1



始めてみませんか！身近な運動で健康づくり

正解率は、(1)61% (2)59% (3)66% (4)34% (5)41% (6)79% (7)88%でした。みなさんのご協力ありがとうございました。

昨年6月に第6保育所内に開設しました子育て支援センター「ひまわり」は、地域や家庭の中で子育ての不安や悩みを持ったお母さんなどを対象に、いきいきとした子育てができるよう支援しています。

1月の日程
▽ふれあいサロン
1月13日(火)午前10時～11時
▽なかよし広場
1月20日(火)午前10時～11時
▽申込み
1月5日から同センターへ(受付時間 午前9時30分～午後3時30分)

お問い合わせ
子育て支援センター「ひまわり」 ☎935-10267

年始の業務案内

業務機関	年始
市役所	1月5日(月)から
保健センター	1月6日(火)から
老人福祉センター	1月5日(月)から
第1老人デイサービスセンター	
福祉会館	
第2老人デイサービスセンター	
市民体育館	1月6日(火)から
市民温水プール	
図書館	
文化資料館	
天文館	
市民会館	
中央公民館	
各地区公民館	
各地区コミセン	

燃えるごみ 1月5日(月)から収集します

1月1日(水)～4日(日)	1月5日(月)	1月6日(火)
収集なし	月・木の収集区域 (阪急線より東側)	火・金の収集区域 (阪急線より西側)

燃えないごみ 1月5日(月)から平常どおり
し尿くみとり 1月5日(月)から平常どおり
大型・臨時ごみ 1月5日(月)から平常どおり
▷お問い合わせ 環境対策課(内線226)

いきいき子育て応援しています 子育て支援センターだより



いあそびからボールころがしなど回を重ねることに気持ちもからだもほぐれ楽しんでいきます。昨年の11月には、お母さん自身からだを遊園地にみたくて遊びました。

■なかよし広場
(2・3歳児対象 毎月1回)
いろいろなあそびを親子で一緒に楽しみ、同年齢の子ども達とふれあいがあそびの楽しさを伝える場であり、また親子の交流もできる場になっています。野菜のはんこあそび、小麦粉の粘土あそびなど室内あそびからからだを使ったり外あそびもします。昨年11月には、園のホールを借り、音楽に合わせてからだを動かす動物あそびをしました。

平成10年知事年頭あいさつ 新時代の京都づくり

京都府知事 梶 卷 禎一



府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。21世紀を目前に控え、私たちは、急速に進む少子・高齢化や社会経済活動の地球規模での拡大に伴い、社会経済システム全般にわたる改革が強く求められており、まさにこれまでの総決算と次なる世紀への準備を行う極めて重要な時期を迎えているといえます。

京都府では、新世紀への大いなる飛躍のため、第4次京都府総合開発計画の総仕上げに向けて全力をあげて取り組んでおり、暮らしや健康を守る福祉・医療対策の充実、新産業の創出など京都産業の活性化、農林漁業の振興、防災対策の推進などに努めてまいりました。また、府域の均衡ある発展に寄与する社会基盤の整備は、道路・鉄道網を中心に順調に進んでまいりました。この3月には京都縦貫自動車道の綾部・舞鶴大江間が開通の運びとなり、懸案であったJR舞鶴線の電化や奈良線の複線化など高速化整備も大きく進展しております。また、新京都駅ビルや舞鶴港FAZ(輸入促進地域)中核施設の完成、この春に竣工する日吉ダムやオープンを迎える丹後あじわいの郷など、関西文化学術研究都市の整備促進とともに、府内各地で京都新時代の胎動を感じさせる事業が着実に実を結びつつあります。

さて、昨年は府内各地にさわやかな感動を巻き起こした「京都総体」や世界の注目を集めた「地球温暖化防止京都会議」が開催され、多くの府民の皆様温かいご支援により京都の魅力が全国に、そして世界に発信できた歴史的な1年でありました。とりわけ、京都府では、人類にとってかけがえのないこの地球を後世に伝えていくために、各界の方々とともに「地球環境京都宣言」を世界に向けて発信し、地球環境保全に向け継続的に取り組んでいく決意を表明しました。

また、一方、年明け早々の重油流出災害の発生、子供たちを対象とした凶悪犯罪や銃器犯罪、金融機関の経営破綻など私たちの生活に大きな不安を抱かせる出来事があった年でもあり、府民の皆様安心・安全の重要性を改めて認識いたしました。今後とも、府民一人ひとりがいきいきと充実して暮らせる、公平・公正で安心・安全な社会の実現に一層努めてまいります。

現在、京都府を取り巻く環境には依然厳しいものがありますが、地方分権の進展など時代の大きな潮流の中で、確かな未来の姿をとらえ、府民の皆様期待と信頼に応えられる新時代の京都づくりに全力をあげて邁進してまいります。新しい年、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。